



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30~13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
		電話 0235 (2) 7711

会幹	長事	嶺佐川	岸藤村	光	吉衛男
会報委員長		小西佐	池海藤	徳繁正	治一昇

No., 1081 1980. 11. 11 (火) (雨) No., 19

ヒシター紹介

半田茂弥君 石油配布一鶴岡西R.C

早坂重雄君 生命保険一酒田東R.C

会長報告

嶺岸光吉君

◎11月7日~15日までの期間がロータリー財団週間になっております。現在まで1万6千有余の財団奨学生が奨学金を受けられ、国際理解と友好関係を増進させ今後もますます伸展の一途にあるようでございます。

我々もこの事業を継続させる為にも、財団に対する理解と協力が必要だと思っております。今日は、財団週間に因んで張先生のスピーチをお願いしてあります。

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために

- ◎去る7日鹿児島市との盟約記念式典に鹿児島西 R.C 会長である柴山先生が来訪されました。先生は使節団の一行とは別行動で7日、いなほ1号で到着して式典に臨み、翌8日白鳥で帰られました。又先生は軽い心筋梗塞の病状の身でありながら式典に参られました。僅かの時間でありましたが、クラブから斎藤栄作君、阿部与十郎君、小松広穂君、佐藤衛君、森田清治君、風間慶三君、佐藤忠君、上野三郎君らと兄弟間の親睦を深め合う機会を得ました。又57年には20周年記念行事があるようでございます。その節には、多数の参加の呼びかけがありました。会員の皆様によろしくと申しておりました。

幹 事 報 告

佐 藤 衛 君

1. 会報到着一東京 R.C、秋田 R.C
2. 第257地区埼玉県 杉戸 R.C 理事 折原啓君が庄内の観光で事務局を訪づれパナーをいただきました。
3. 山形西クラブよりこのように立派な20年史を10部いただきました。希望者の方にお分けしたいと思います。
4. 11月18日(火) ゲストスピーチは 鶴岡税務署々長 倉川茂行氏です。

◆ 全 快 の お 礼

津 田 晋 介 君

ロータリーの例会に再び出席されるかどうか、実は心配だったのであります。あまりに血を吐いたものですから手術室に行く前には、これは生きて帰れるのは半分なんじゃないかなと云うのは本当に実感でした。

5回も吐いたんでやはり案の定先生の云うには1日遅れれば血液不足で危なかったんじゃないかと云うことを少し洩らされましたんですが、おかげ様で斎藤先生の見事な手腕によりまして胃を34切りましたけれども無事生きて帰れまして、手術後丁度3週間目で退院しました。

現在あの時の気持をこれからも忘れないで本当に生きているということの有難さと云いますか、本当に良かったという気持をずっと持ち続けていきたいと思えます。

入院中会長を初め会員の皆様方のお見舞いをいただきまして本当に有難うございました。今度は心を少し入れ替えてあまり欠席のしないロータリアンになれると思えますので宜しくお願い致します。

委員会報告

◎親睦活動委員会

新穂光一郎君

- ・中江 亮君—長女の令子さんが昭和医科大学勤務の渥美敬氏とご結婚。
多大のスマイルをいただきました。
- ・張 紹淵君—故阿部襄先生のためにメモリアル・コントリビュータ財団に寄与されました。
- ・津田晋介君—病氣全快して多額のスマイル。

◎社会奉仕委員会

委員長 市川輝雄君

ただ今皆さんの席に回覧しておりますけれども、荘内日報紙上に庄内への提言と題しまして、かねてから事業ケースのひとつとして準備しておりました提言集を連載致すことになりました。毎週金曜・土曜付けの荘内日報紙上に次々と12月の中旬頃までそれぞれその学会、名士のユニークな卓説が展開されますのでひとつ期待をもってご覧いただきたいと思ひます。

この企画のねらいのひとつはこの庄内の対応的な意識の啓蒙であり、いかにして地域の向上を発展させるかと云うことを考えて行くことの足がかりとなることと思ひます。むしろもうひとつのねらいはこれを通じてロータリーリズムといったものを一般社会に広報せしむる機会としてとらえてみたいと思ひて計画致しました。荘内日報社の好意でご覧のように鶴岡ロータリークラブ提供と入れてくれておりますし、連載の締めくくりには中江君のロータリーと地域社会というふうな文作が載る事になっておりますので、良くご覧いただきたいと思ひます。さらにその連載終了後にパンフレットにして近隣分区内の各ロータリアンに配布したいと思ひております。

現在11名の原稿が集まっております長い原稿ですと2日に渡るものもありませんけれども読み切りの形で連載になります。

それからもうひとつ社会奉仕委員会からの大きな事業企画であります鶴岡公園の正面大鳥居前に鶴岡城復元絵図と年表を立てる件でございますが、これは史料館と打ち合せしましていただいた復元図の下絵が出来ております。その掲げ屋さんで丁寧に書きたいと云うのでこれから積雪の時期になりますので来春早々に立ててご覧に入れたいと思ひております。宜しくお祈りいたします。

◎S.A.A委員会

委員長 斎藤利男君

過日西ロータリーと合同例会を行いました際に帽子が忘れてありましたので心当りの方がおりましたら事務局までお申し出願ひます。東京バンディ製の57cmのカップでございます。

◎鹿児島から寄贈の友愛のつつじの由来立札設置について報告

前年度社会奉仕委員長 川村徳男君

懸案になっておりました立札が、公園のお稲荷さんの西側通路をお掘の方に行った突き当りのところに立てられました。また、そこを右に、ほりばた食堂の方に下った角のところに白い杭が友愛の標示として立てられています。ぜひご覧下さい。

◆ 会員スピーチ

ロータリー財団週間に因んで

昭和55年11月11日

ロータリー財団委員会 張 紹淵君・玉城俊一君

ロータリー財団の文献は表のように、丁度10あります。スライドは表題が「ロータリー財団」がありますが、最近、新しい16ミリ映画で、表題が「平和のための財団」があります。これを注文して、ロータリー財団週間に間に合うようにしたところR.Iから未だに送って来ませんので、残念ですが、後日又皆様と共に見る機会があると思います。この映画はロータリー財団の活動を簡潔に描いたもので、ロータリアン許りでなく、一般市民へのPRに積極的に活用するように求められています。

次に、今月号の“ロータリー友”の9頁にロータリー財団の最新資料が表として載っています。全世界の寄付額合計がコピーされているように、1億4百10ドルとあって、日本の寄付額合計が2千7百24万9千9百33ドル86セントとあります。国別のポール・ハリス・フェローの数は、米国が一番多く、2万4千9百9名とあった。次に2番目に多い日本は1万5千73名となっていますが、地区別の寄付金額が、第253区が8万7千7百42ドルとなっており、この中で寄付額が一番少ない地区が第269地区で、7千664ドルとあります。それで、本地区が、下から数えて、第2番目に少ない地区であります。ところで、この表で見ると悪い成績のようですが、しかし、1人当たりの寄付の額が案外が一番多い地区かも知れません。皆様から又、一層の財団の推進と発展のために、多額のご寄付をお願い致します。

次に、ロータリー財団の経過と概要を申しますと、1917年(大正6年)、アメリカのジョージア州アトランタで開催された国際大会で、アーチ・クラフ氏によって構想が表明されまして、最初の寄付金が26ドル50セントが、アメリカのミズーリ州、カンザス・シティのロータリークラブから寄付があつて、1928年(昭3)に、ミネソタ州ミネアポリスの国際大会で、国際ロータリー細則が改正されて、財団を5名の管理委員の管理の下に置くことを規定されて、1931

年(昭6)に、R.I理事会とロータリー財団管理委員会が、イリノイ州で、財団を信託組織にしたことが書かれてあります。1947年(昭22)に、ポール・ハリスが亡くなると、たちまちと、その追悼に多大のご寄付金が財団に寄せられ、今日のような発展になったのであります。

それから、1947年(昭22)に、ロータリー財団 ①大学院課程奨学金の創設をしまして、1964年(昭39)に、財団管理委員5名のところを11名に増員し、そのうち6名が国際ロータリーの元会長にするようになりました。1964~65年(昭39~40)に、②専門的訓練補助金と、③研究グループ交換と、④特別補助金が推進されて、1967年~68年(昭42~43)の、ロータリー財団の50周年に、⑤大学課程奨学金が設けられて、次に、1971年(昭46)に、⑥心身障害者教師奨学金が出来まして1976年(昭51)に、⑦ジャーナリズム奨学金制度が出来たと書いてあります。丁度7つの制度が出来ましたのであります。

ここで、強調したい大切なことは、ロータリアンはこれらの補助金を受けられませんと云うことであります。その理由は、“奉仕の理想”を模範に示す財団としての在り方を守っていくためであって、これらの補助金は、財団の管理委員またはその従業員等、あるいはR.I又はロータリーの地理的地域や地区、もしくは、それらのクラブ理事や役員または従業員、もしくは、ロータリアンおよび以上の人達の配偶者、扶養家族又は血縁関係者のもの、もしくは姻戚の親族にも、これらの補助金を与えられないことになっています。又親族とは、実子・継子・孫・兄弟姉妹、これらの配偶者のある場合も同じく補助金がもらえないように規定されています。このようなロータリー財団であるので、ロータリーはこれで一番と光って見られる点と思います。

次に、ロータリー財団の目的は、博愛的、慈善的、教育的に救助、見舞いをする性格なもので、これを確実に、実際に効果を伴う仕事を守り、育てることによって、さまざまな国々の人々への理解と友好関係を増進することにあります。その大学院課程奨学金から特別補助金の7つの制度をかいつまんで、わかりやすくしたのが、次のロータリー財団の概要にある。2項から34項に、全部の重要なところを要約されてありますので大変参考になります。一目瞭然のようなもので、今日、時間がないので説明を省略させていただきます。

次に、ロータリー財団の寄金をふやす方法、を考えてみましょう。28~31項にあるように、ロータリー財団の友。ポール・ハリス・フェロー。ポール・ハリス準フェロー。メモリアル・コントリビュータ、があり、そのほか同心の有志からの寄金などがあります。いろいろの意味で皆様から少しでも多額に、ロータリー財団にご寄付下さいますようお願い致します。

今日は、私達の親友の故阿部襄先生に、メモリアル・コントリビュータとして寄金をさせてもらい。クラブの皆様からは一人でも多く、準フェロー、或い

はフェローの申し込みをお願い致しますので、どうかよろしく、お願い致します。

尚、内容のたりないところを、ご追加を会長、パスト・ガバナー、ガバナー・ノミニー、会員の皆様から賜われれば大変有難たいと思います。
長時間ご静聴を有難うございました。

出席報告

本日の出席	会員数	70名	欠席者	阿蘇君、池田(弘)君、藤川君、早坂(徳)君、板垣(広)君、風間君、小池君、本山君、齋藤(得)君、笹原君、佐藤(昇)君、佐藤(友)君、玉城君、富樫君
	出席数	56名		
	出席率	80.00%		

前回の出席	前回出席率	75.36%	メア 1ッ クブ	中江君一酒田東R.C 笹原君一仙台R.C 本山君一海外R.C 秋野君、今野君、板垣(広)君、三井(徹)君、佐藤(友)君、高橋(耕)君、上野君 一鶴岡西R.C
	修正出席数	62名		
	確定出席率	89.86%		